

平成20年度・第3回小平市立学校給食共同調理場運営委員会議事要録

開催日 平成21年2月9日(月) 午後3時30分～午後4時40分

会 場 小平市立学校給食センター会議室

出欠席 出席者10名 欠席者 3名 事務局 3名

傍聴者 なし

次 第 議題

1 委員長挨拶

2 議題

(1) 協議事項

① 平成21年度給食費について

② 平成21年度中学校給食実施計画(案)について

(2) 報告事項

① 小平市立学校給食共同調理場設置条例の一部改正について

(3) その他

議 事 要 録

所長

皆さん、こんにちは、お忙しいなか出席をいただきありがとうございます。今年度、最後の共同調理場運営委員会になろうかと存じますが、第3回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を開催いたします。開催にあたりまして委員長にご挨拶をお願いいたします。

委員長

皆様、こんにちは。今年度も残すところ給食の期間が1カ月半位となりましたが、これまで美味しい給食をいただけてまいりました。正式な数値はわかりませんが、私が見る限りでは、昨年と比べて残食が減っているように思えます。

学校給食センターの栄養士さんをはじめ関係される方に感謝いたしております。また、来年度に向けて課題等を話あう必要もあると思っております。

先日の1月24日土曜日ですが、大阪の毎日放送の番組をTBSテレビで午

前7時44分位から、小平市立学校給食センターが紹介されました。内容は大阪市で中学校給食を始めるとの報道がされたことから、現在の学校給食はどうなっているのかという趣旨で、取材を受けたものです。放映された内容は、栄養士が調理場内を紹介したり、当日の献立が美味しそうに映っていたり、衛生管理もきちんとしていることなど分かりやすく放映されていました。小平市の給食を全国にPRできたのではないかと思います。良いものはPRしていく必要があると思います。また、課題となっております箸の問題につきましても、順次計画的に進めていただければと思っています。

今日は、学務課長の出席をいただいておりますので、給食費のことなど話があると思いますが、よろしく願いいたします。

所長

委員長、ありがとうございました。

それでは、委員会の進行を委員長にお願いしたいと思います。委員長よろしく願いいたします。

委員長

議事を進めてまいりたいと思います。

協議事項の1番目、平成21年度給食費についてを議題といたします。説明をお願いします。

所長

それでは、お手元の資料1に添いまして説明をさせていただきます。

平成20年11月10日の共同調理場運営委員会で、給食費について委員の皆様からご意見を伺ったところですが、種々、検討いたしました結果、平成21年度の中学校給食費につきましては、平成20年度と同額の1食当たり280円といたします。

今年度の給食費の状況は、原油価格の高騰等で、給食用の食材料費も値上がりするなか、パン、魚介類、牛乳以外の飲み物、果物、デザート等、予め高価と思われる食材の使用回数を控えながら、食品の安全性を最優先に、価格の安い食材を厳選することや献立の工夫で運営しております。また、小平市学校給食センターには、他市のセンターにはあまりない自動炊飯ラインがあることで、週3回の米飯給食が実施できる所に強みがありました。炊飯ラインを持たないセンターでは、米飯を外部に発注して生徒に提供しています。単価的には、小平市の場合1食当たり約35円ですが、外注すると倍の値段になります。このようなことから、あまり給食の質を落とすことなく、平成20年度は乗り切れると判断しています。

平成21年度は4月1日より、牛乳が1本3円（税込3円15銭）値上がりになります。飼料の値下がり等で生産者乳価が下がった場合は、牛乳の値下げ

がありえるとの見解もあります。また、小平米穀小売商組合から購入している小平町産の米「ななつぼし」につきましても、10月までは現行の10Kg3,400円で納入する確約を得ております。物価高騰は高値安定ながら落ち着きを見せておりますが、今後、値下がり期待しているところです。

最近、米国の金融不況に伴い日本でも多大な影響を受け、雇用不安が増大する中、国や地方自治体でも雇用対策にシフトしている現状のなか、安易な給食費の値上げは適切ではないと思われまます。このようなことから、更なる献立の工夫や、食材料の厳選、未納対策の強化等を行いつつ、年度途中で給食運営に困難が生じた場合には、中学校給食費会計にあります「物価調整基金」の繰入を視野に、給食費を据え置くこととしました。

委員長

只今の説明はいかがでしたでしょうか。安いということは保護者の方々にとりましては良いことだと思えますが、前回の共同調理場運営委員会では、値上げもやむを得ないというお話でした。仮に、何かあった場合は、物価調整基金があるとのことですか。ご質問等ございますか。

委員

物価調整基金はどこから出てくるのですか。

所長

中学校給食費会計は、毎年、決算後監査を受けておりますが、繰越金以外の余剰分を積立ててきたものが物価調整基金です。現在、2,000,000円ございます。

委員長

未納者が各学校にいると思いますが、物価調整基金からも当てられますか。昨年、新聞等で問題になりましたが、小平市でも多いですか。

委員

未納分に対する補てんはどのようになっていますか。

所長

平成19年度1年間で1,500,000円程の未納がありました。件数では57件です。学校別では小平第一中学校と花小金井南中学校が未納はありませんが、他の6校で57件ということになります。困窮されている方には、生活保護や教育委員会学務課でおこなっている準要保護制度がありますので、未納はなくなりますが、これら制度の適用にならない方の未納になると思えます。未納額1,500,000円という数字は、各学校で懸命に未納をなくすための努力をしていただいた結果です。学校給食センターでは、この未納分を5年間、電話や催告書を送付したり未納解消に努力しております。未納分の給食費への影響でございますが、1食単価280円お預かりしておりますが、昨年は、

最終的に279円50銭程で給食を提供いたしました。280円丁度に給食を提供するのは至難の技ともいえます。また、学校給食センターで、過年度分の給食費を催告したことによる収入もありますので、現在、給食費への大きな影響はないと考えております。

今年度は、物価調整基金を使用しておりませんが、使用せずに済めばと思っています。21年度につきましては、少額で済めばと思っています。

委員長

極端な物価の高騰がなければ、280円で給食が実施できるであろうとの判断だと思いますので、平成21年度の給食費を据え置くことといたします。

続きまして、協議事項2の平成21年度中学校給食実施計画（案）についてを議題といたします。説明をお願いします。

所長

資料2の平成21年度中学校給食実施計画（案）についてをご覧いただきたいと存じます。只今、ご審議いただきました給食費1食単価280円で実施させていただきます。給食実施期間は平成21年4月8日から平成22年3月24日までになります。4番目の各学校の年間給食予定回数及び予定給食費ですが、現在、各学校に予定回数等を調査中で、調査が完了次第正しい回数を入れさせていただきます。また、平成21年度4月から小平第五中学校に特別支援学級が新設されます。

次に、給食費についてでございますが、1食当たり280円で実施いたします。給食費の徴収はゆうちょ銀行の口座振替で納入していただいておりますので、昨年同様、5月から2月まで引き落としをさせていただきます。月額5,200円で、2月のみ給食回数に応じた金額を算定し、清算する形になります。ほとんどの学年が、5,200円以下の金額になると思います。3月の引き落としは、未納の方を対象に再度引き落としをさせていただきます。なお、1回10円の引き落とし手数料は、保護者の方の負担でお願いしております。次の、給食費会計ですが、年間の給食用食材料は、約2億2千万円程度になりますが、年度末に会計を締めましてから、中学校長1名、保護者代表の方2名で監査をしていただき、その結果を教育員会に報告しております。また、学校にもお知らせすると同時に、保護者の方へは、7月の予定献立表の裏面に監査報告書を印刷し、全保護者にお知らせいたします。

7番目の献立の作成でございますが、献立の作成にあたっては、当面、旧東京都学校給食の栄養摂取基準を準用するとなっておりますが、この東京都の基準が廃止され、文部科学省の基準で行うようになりますが、各市の実態に合わせた形で、栄養摂取量に幅を持たせて決める形になります。各市が基準を決めるためには、栄養調査などを実施することも必要になると思われま

小学校も同様に基準を決めていくこととなりますので、小平市としての方向性が決まるまで、当面、旧東京都学校給食の栄養摂取基準で実施してまいります。

また、昨年、中国産冷凍餃子等の問題もございましたが、学校給食センターでは、冷凍のコロッケ等の半加工品は使用せず、引き続き原材料から作る手作りを基本としてまいります。野菜につきましては、食中毒防止のため加熱してから使用いたします。地場野菜の導入も積極的に進めたいと思います。平成19年度の導入率は金額ベースで15.4%ございました。今年度、現在のところ16%で推移しております。将来的には20%を目標に進めてまいります。

お米につきましては、本年、10月から年間を通じて、姉妹都市小平町の「ななつぼし」を無洗米にして使用いたします。

次の、衛生管理でございますが、「食中毒は出さない」という考えの基に、衛生管理を徹底し、安全な給食を提供していきたくと考えております。また、小平市薬剤師会等のご指導をいただきながら徹底していきたくと思います。

次に、食育でございますが、学校給食センターのホームページを開設しましてから、2年半になりますが皆様見ていただいているでしょうか。昨年8月に学校給食センターと各学校及び教育委員会が1つの回線につながりましたので、今後、学校との連携をさらに充実させたいと考えております。以上です。

委員長

説明が終わりました。かつては学校によって給食の回数がまちまちでしたが、現在は、1年間の最低給食回数が決めてられておまして、各学校ともそれ以上の回数を食べています。給食費につきましても、保護者の方が口座にお金を入れていただきませんと未納になったりしますので、保護者の方の協力も不可欠です。献立の栄養摂取量についての説明もありましたが、生活習慣病等で委員、ご意見等ございますか。

委員

栄養のバランスが取れているので大丈夫だと思います。

委員長

学校給食センターでは、毎月、3回程度学校を訪問して生徒たちの意見を聞いて、献立の工夫や改善を心掛けています。献立についてはいかがですか。

委員

3年生がいない日にメロンパンが出たのが残念でした。献立作成委員会のこともかもしれませんが、3年生がいない日をお知らせしておけばと思っています。

栄養士

人気のあるメニューや行事食については、日程を気にしながら献立を立てていますが、来年度は入試の日程等を注意しながら献立を考えたいと思います。

委員長

衛生管理面について。委員いかがですか。

委員

調理した食品の中心温度が75℃となっておりますが、ノロウイルスの関係で申し上げますと、85℃がよろしいと思います。国の基準も85℃になっていきます。

所長

学校給食センターでは、毎日、食品ごとに温度を測り記録をしておりますが、実際、85℃以上に加熱しておりますので、記載上も85℃に変更したいと思っております。

委員長

薬剤師さんの立場から見て衛生管理の面で何かございますか。

委員

学校給食センターには、各学期1回入り検査をしています。指摘があればその都度、改善をお願いしています。

委員長

各学校の配膳室はどうなっていますか。

委員

中学校の配膳室につきましては、年1度、9月ごろ検査に入っています。学校によっては改善して欲しいところもありますが、予算上難しいようです。

委員長

改善するための予算要望は必要だと思います。

所長

中学校の配膳室の衛生検査は、学校給食センターではなく学務課の予算で対応しています。薬剤師さんからの指摘事項がある場合、学校給食センターにもまわってきますので、その都度、関係課と調整しています。

委員長

他に、ご意見ございますか。

委員

北海道小平町の米「ななつぼし」についてですが、白いご飯の方が美味しいと思っています。先週、あんかけチャーハンが出ましたが、ご飯に最初から味がついていまして、あんを掛けることによって色がわからなくなりもったいないと思います。何か理由があるのでしょうか。

栄養士

小学校では、あんかけチャーハンというメニューがあるらしく、学校訪問の際、生徒からのリクエストで取り入れたメニューです。

委員

あんかけにすると、ななつぼしの味がわからなくなるので、白いご飯の方が良いと思います。

委員

あんかけチャーハンは、ご飯にも味がついていてあんかけにも味があるので、白いご飯でもという意見もでました。例えば、このメニューは、何々中学校のリクエストです等とわかったら良いと思います。

委員長

確かにどこの中学校のリクエストか分かった方が、良いと思います。

食育に関して、ホームページの活用がありますが、委員いかがですか。

委員

比較的に見やすいホームページだと思います。誰もが見られるような工夫やアピールが必要だと思います。

委員長

学校でもホームページの更新回数に差があるようですが、新しい情報を発信するのも大切なことだと思います。また、学校給食センターのホームページを見て、テレビ局が取材を申し込んできたそうです。

委員

NHKの「食べもの一直線」という番組で、北海道の米作農家の1年を放送していましたが、この産地の米を食べていることはすごいと思いますし、実際美味しいと思います。

委員長

炊き具合も良いし、美味しいと思います。

委員、お子さんから給食について何か聞いていますか。

委員

毎日、おかわりをしているという話をよく聞きます。

所長

本日、小平第五中学校の1年4組を給食時間に訪問して来ました。メニューは、ハヤシライスでしたが、良く食べていただいて完食でした。

委員長

他にご意見等ございますか。

学務課長

中学校給食実施計画にも関係いたしますが、給食費のお話の中で未納の件がございました。中学校だけではなく小学校も未納がございました。他市に比べて多いということではございませんが、来年度、給食費を据え置くという話をさせていただきましたが、来年度の取り組みの一つとして未納者をできるだけ少なくしようと考えております。生活保護を受けているご家庭で未納の方がい

る場合、生活福祉課に対し代理納付ができないか、現在、調整をしております。生活保護のご家庭すべてではございませんが、来年度から長い間滞納している場合は代理納付ができるよう調整をしております。また、未納の方に対して、学校長名で文書を出していたと思いますが、来年度は教育委員会名を併記した形で給食費の徴収ができればと考えております。他市でもこのようなやり方で成果をあげているという情報もあります。来年度、給食費を据え置くということもございますので、未納を少しでも減らすよう努力したいと思っております。

委員長

それでは、中学校給食実施計画につきましては、以上のようなことで承認したいと思います。

続きまして、学校給食センターからの報告をお願いいたします。

所長

資料3の小平市立学校給食共同調理場設置条例の一部改正について、報告という形で説明させていただきます。

学校給食法の一部が改正され、平成20年6月18日に公布されました。改正の内容は、学校給食を活用した食に関する指導の充実として、食に関する適切な判断力の涵養、伝統的な食文化の理解、食を通じた生命、自然を尊重する態度の充実を食育の観点から盛り込まれたこと、栄養教諭による学校給食を活用した食に関する指導の推進として、食に関する指導の全体計画の策定、地場産物の活用等が盛り込まれ学校給食法が改正されました。

今回の法改正で、小平市立学校給食センターの設置根拠となる条文の変更はございませんが、条項が変更されたため小平市立学校給食共同調理場設置条例の一部を改正したものです。

ひらたく申し上げますと、設置根拠とは、2つ以上の学校へ給食を提供する場合、共同調理場を設けることができると、学校給食法5条の2で規定していたものが、第6条になりましたということでございます。

この条例の改正につきましては、平成20年11月25日の市議会本会議で可決をいただいておりますので、平成21年4月1日から施行されます。以上でございます。

委員長

報告が終わりました。ご質問等ございますか。

ないようですから、最後に「その他」何かございますか。

委員

学校給食センターから、給食の時間に放送して欲しいというカセットテープが送られてきますが、カセットテープを再生するデッキが学校にはほとんどない状況です。今は、CDになっていますので、CDかカセットテープか選択さ

せて欲しいという要望があります。

栄養士

小平第二中学校では、給食時間に生徒さんが読んでいただいていると思いますが。

委員

生徒が読んで放送しています。

委員長

小平第三中学校では生徒が読んで好評だったと思います。

所長

委員の方で、給食時間の放送について分かりにくいと思う方もいらっしゃると思いますので説明いたしますと、栄養士が給食について生徒に伝えたいことをテープに録音し、学校で給食時間に放送していただいているものです。

今、出されているご意見は、カセットテープを流すデッキがないのでCDにならないか、一方、小平第二中学校等では生徒が原稿を読んで放送している状況があります。学校給食センターでは、CDに録音するデッキがありませんので、各学校の給食委員や放送委員の生徒に読んでいただくのも良い方法かと思っています。

委員長

給食時間の放送については、各学校の給食担当の先生が集まる献立作成委員会でも検討したいと思います。他に、ご意見等ございませんか。

ないようですから、最後に、学務課長からお願いします。

学務課長

日頃から、委員の皆様にはお世話になりありがとうございます。学校給食センターも皆様のご助言をいただいて、一步一步、前進していると思っております。給食を開始した当時は、この施設がどうなるのか心配された時期もございましたが、今は、給食も美味しくなりました、皆様に喜んでいただける学校給食センターになってまいりましたのも皆様のお陰と感謝いたしております。今後は、給食をはじめ施設や環境の問題も出てきておりますので、皆様のご意見等いただきながら、より良い学校給食センターとなるよう努力していきたいと思っております。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

委員長

以上で本日予定しておりました議題等は終了しましたので、平成20年度第3回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。